

令和5年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立国際会議場	指定管理者：(株)大阪国際会議場	指定期間：平成31年4月1日～令和11年3月31日	所管課：府民文化部 都市魅力創造局 企画・観光課
----------------	------------------	---------------------------	--------------------------

I 評価項目	評価基準 (内容) ＜取組内容とその効果等＞	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>○ 国際会議等の誘致・開催を通じて、大阪の地域活性化に貢献するという施設の目的に沿った運営がなされているか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】 R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>A</p> <p>・2023年度は、当社が大阪府より大阪府立国際会議場の指定管理者として、新たな10年間の指定を受けてから前半最後の5年目にあたる。昨年5月には、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが変更され、これまで開催が低調であった国際会議も、ほぼ従来のペースで開催されるようになってきた。10月に開催された「G7大阪・堺貿易大臣会合」には万全の態勢で臨み、会合は滞りなく終了した。企業の展示会やイベント、会議等のビジネス需要の回復には弱さがみられるが、これまでのお客様との信頼関係を維持し、さらに新たなお客様にもご利用いただけるよう営業活動に努めた。特に、12月からの休館期間中には積極的に訪問営業を行った（首都圏の学会事務局、展示会の主催者等12月：375件）。</p> <p>指定管理者としてふさわしい財務基盤を確立し、急激な物価高騰に対応するとともに、さらに大阪府において策定された「大阪MICE誘致戦略」に掲げる目標達成に向け、他施設との競争力を維持しつつ、当会議場としても積極的なMICEの誘致活動を推進するため、施設利用料金の改定を大阪府に申請し、12月に承認、告示された。</p> <p>また、今後の戦略として、指定管理期間後半（2024～2028年度）の中期経営計画について成案を取りまとめた（大阪府と協議中）。</p>	A	<p>A</p> <p>今年度は大規模修繕により12月～3月まで休館となったが、国際会議を47件（4月～11月）開催しており、コロナ禍からも回復の兆しがある。10月に開催した「G7大阪・堺貿易大臣会合」においても、関係各所と協力の上、無事終了しており、大阪のプレゼンス向上と地域活性化に貢献した。利用料金改定についても、特に問題なく取引先へ案内ができていた。また、積極的な営業活動に取り組んでおり、中期経営計画で策定する指定管理期間後半の目標値を達成できるよう、積極的に取り組んでいくことを期待する。</p>	<p>休館期間中、積極的な営業活動がされている。国際会議の誘致は長期戦であり、短期で結果が出るものではないが重要な項目である。引き続き、積極的な取組みを進められたい。</p>
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>○ 公の施設であることを踏まえ、公平・平等な利用がなされているか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>A</p> <p>・利用申込から利用承認さらに終了後のアンケートの照会・回答までオンライン化したWEB申込手続きについては、オンライン予約(e-予約)を含め、ほとんどのお客様にご利用いただいている。 ・バリアフリー化の一層の推進のため、多機能トイレの扉の自動化工事を進めたほか、プラザステージに近い1階入口に「非接触自動ドア」を増設した。</p>	A	<p>A</p> <p>予約方法、料金、空き状況の公表に加え、仮予約の円滑な運用により、公平・平等利用が適切に行われている。バリアフリー化の推進にも継続して取り組んでおり、利用者にとっての利便性を高める取組みをしていると認められる。</p>	
	(3) 国際会議の誘致・開催等の取組内容、手法及び実現可能性	<p>■ 国際会議の誘致方針</p> <p>○ 同種施設の動向や今後のコンベンション等の需要を見据えた戦略的な取組が適切に実施されているか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>A</p> <p>・国際会議の需要は、概ね新型コロナウイルス感染症前の状況に回復しつつあり、当社としても、再度、誘致強化に努めた。医学系学会会議においては、これまでのネットワークを活用して大型学会の開催誘致に努め、2025大阪・関西万博会期中から終了以降に開催される大規模学会について、当会議場での開催の内定をいただいている。自然科学系学会会議については、アドバイザー（大阪大学、大阪公立大学の理工学系研究科長）の助言・提言をもとに誘致に努めた。8月には大阪公立大学の、9月には大阪大学のアドバイザーの皆様を大阪中之島美術館にお集まりいただき、今後の自然科学系学会会議の誘致方針についてご教示をいただくとともに、ユニークベニューの活用についてご意見を賜った。ユニークベニュー、ユニークプログラムについては、中之島における試験的な取組みとして、国の助成(観光庁によるポストコロナに向けた国際会議誘致競争力向上支援)を活用し、9月に開催された「ISMC2023(国際ソフトマター会議)」の参加者の皆様を大阪中之島美術館にご案内し、閉館後に美術館職員による説明付の展覧会鑑賞や立食パーティーを実施した。</p> <p>なお、2023年4月から11月までの8ヶ月間における当会議場での国際会議開催件数は、これまでの自然科学系学会会議の誘致活動の成果もあって47件となった。</p>	A	<p>A</p> <p>国際会議開催件数は4月～11月までの8か月間で47件と、コロナ禍以前の水準に回復してきており、2025年大阪・関西万博に向けて、引き続き最重要目標として国際会議誘致に努められたい。</p> <p>ユニークベニューの活用に関しては、今年度実施した試験的な取組みを活かし、国際会議誘致の魅力のひとつとして、近隣と協力し、継続して取り組んでいくことを期待する。</p>	

○ 大阪の都市魅力を活かした取組が適切に実施されているか

過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】
R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】

■国際会議誘致の取組内容

○ 国際会議の誘致の開催目標件数は達成されたか【※】

	年度	H31 2019	R2 20	R3 21	R4 22	R5 23	R10 28
指定管理	開催	60	62	62	65	70	70
	成約	55	55	53	50	50	55
提案時目標	開催	60	—	—	—	33	
	成約	55	20	27	37	43	
年度目標	開催	60	—	—	—	33	
	成約	55	20	27	37	43	
実績	開催	57	0	0	24	47	
	成約	55	39	45	38	42	

(成約：当該年度以降、R10年度までに開催されることとなる国際会議の成約件数であり、当該年度の開催件数とは一致しない。)

・主要三施設（10階会議室、イベントホール、メインホール）

	稼働率	H31 2019	R2 20	R3 21	R4 22	R5 23
指定管理	主要三施設日数	86.2	86.4	86.7	86.9	87.3
提案時目標	全館利用単位	41.2	41.3	41.4	41.5	41.7
	主要三施設日数	86.2	18.8	36.9	53.2	68.2
年度目標	全館利用単位	41.2	11.7	20.8	32.9	37.2
	主要三施設日数	76.2	33.7	81.0(※)	67.8	68.4
実績	全館利用単位	47.4	19.1	71.3(※)	37.0	40.0

(主要三施設日数稼働率の分子：使用した日数、分母：主要三施設すべてを使用した場合の日数)
(全館利用単位稼働率の分子：午前使用数+午後使用数+夜間使用数、分母：全施設利用した場合の使用数)
※R3は大規模接種センター設置期間を含めた数値。(接種センター設置期間を除いた稼働率 主要三施設：53.0% 全館：32.8%)
※R5は休館期間4カ月を含めず算出。

・主要三施設料金稼働率（10階会議室、イベントホール、メインホール）

	稼働率	H31 2019	R2 20	R3 21	R4 22	R5 23
年度目標	主要三施設料金		18.2	28.9	50.2	64.4
実績	主要三施設料金	71.9	26.5	100.3	59.5	62.0

(分子：主要三施設の施設利用料、分母：主要三施設の全施設を9時～21時で利用した場合の施設利用料)

過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】
R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】

○ 大阪の都市格向上に繋がる国際会議を誘致する戦略的な取組が適切に実施されているか
・戦略的情報ネットワークの形成状況

過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】
R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：S 所管課：S】

ご利用者様、ご来館者様に当会議場だけではなく中之島の魅力を実感していただき、リピーターとしてご利用いただけるよう中之島の地元企業や4つの美術館等と地域の魅力向上について協議を進めた。
また、2025大阪・関西万博と連動して中之島地域の魅力をさらに高めるため、「中之島パビリオン・フェスティバル2025（仮称）」の実施を企画しており、関係企業、美術館等と協議を重ねた。

・2023年度第3四半期 国際会議開催・成約件数
開催 47件
成約 42件

・2023年度第3四半期 稼働率
主要三施設日数 68.4%
全館利用単位 40.0%

主要三施設料金 62.0%

・施設稼働率の向上を図るため、ロイヤルカスタマーや大口のお客様への営業活動に努めるとともに、新たなニーズに応えるため、マスコミ、広告代理店等に訪問営業を行った。
夏期には、近年利用されていないお客様に催事開催を働きかけるとともに、12月からの休館期間には、首都圏の学会事務局や展示会の主催者等に催事の誘致を働きかけた。

・オール大阪の取り組みとしては、10月に開催された「2023年G7大阪・堺貿易大臣会合」の受け入れを大阪府・堺市とともに進めたほか、ヘルスケア・医療の大規模国際展である2025Japan Health(インテックス大阪で開催)の前年2024年のプレイベントである国際フォーラムを当会議場で開催できるよう大阪観光局とともに誘致を進めた。
その他、万博協会から環境に関する国際会議の開催検討情報を入手し、東京にある主催団体へ訪問するなど国際会議誘致のためのネットワークを形成している。

A 中之島エリアのブランド構築に向け、地元企業や美術館と連携した取組みを行っている。また、万博に向け開催を予定している「中之島パビリオン・フェスティバル2025（仮称）」について、大阪の都市魅力向上に寄与することを期待している。

S 指定管理者公募時の際、提案した目標数値には至っていないが、単年度の目標は達成見込である。休館期間中の営業強化により、成約件数及び施設稼働率のさらなる増加に努められたい。

A 「2025 Japan Healthのプレイベント」については、大阪府・堺市と連携して誘致推進し、誘致に成功した。休館期間中の首都圏への営業強化によるネットワーク構築を引き続き強化し、さらなる誘致に努められたい。

A

S 国際会議の開催件数および成約件数について、目標件数を上回っていることから、誘致活動の成果が表れているものと考えられる。今後も積極的な取組みを継続されたい。

A

	<p>○ 施設及び周辺エリアの特性を活かした取組みが適切に実施されたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中之島MICEアライアンス」の取組み ・「中之島エリアMICE」の形成 ・中之島の活性化への貢献 <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：B】 R3年度【指定管理者：A 所管課：B】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・ご利用者様、ご来館者様に中之島の魅力を実感していただき、リピーターとしてご利用いただけるよう中之島の地元企業や4つの美術館等と地域の魅力向上について協議を進めた（再掲）。</p> <p>また、大阪観光局、ホテル、交通事業者等と連携して、大阪・中之島の魅力向上のための取組みを進めた（再掲）。</p> <p>2025大阪・関西万博と連動して中之島地域の魅力をさらに高めるため、「中之島パビリオン・フェスティバル2025（仮称）」の実施を企画しており、関係企業、美術館等と協議を重ねた（再掲）。</p>	A	関係各所と協議し、引き続き取組みを進めていかれたい。	A
	<p>○ 誘致の実現に効果的な支援等が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：S】</p>	<p>・国際会議誘致開催支援、SDGs関連会議開催支援の両制度により、ネットワークを活用し、誘致に努めた。</p> <p>「大阪公立大学大学院工学研究科国際シンポジウム」（2023年9月開催） 「世界がん撲滅サミット」（2023年11月開催） 等</p>	A	各開催支援制度やネットワークの活用により、会議誘致に繋げることができたと認められる。	A
	<p>○ MICE関係団体や主催者との連携が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：B】 R3年度【指定管理者：A 所管課：B】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・10月に開催された「2023年G7大阪・堺貿易大臣会合」の受け入れを大阪府・堺市とともに進めたほか、ヘルスケア・医療の大規模国際展である2025Japan Health(インテックス大阪で開催)の前年2024年プレイベント国際フォーラムについて当会議場で開催できるよう、大阪観光局とともに誘致を進めた（再掲）。</p>	A	「2025 Japan Healthのプレイベント」については、大阪府・堺市と連携して誘致推進し、誘致に成功した。	A
	<p>○ 大阪のMICE拠点として、政府系国際会議や国際機関や国際団体の会議を誘致する取組みが適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：B】 R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：S 所管課：A】</p>	<p>・国際会議では、医学系では「第43回日本脳神経外科コンgres総会」、「第48回日本超音波検査学会学術集会」、「フォーサム2023（眼科系4学会合同開催）」、「第68回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会」などの大規模な学会のほか、「第13回アジア・オーストラリア定位・機能神経外科学会（AASSFN2023）」等が開催された。自然科学系では「International Utility Working Group (IUWG 2023)（電力企業の国際会議）」、「AJKFED 2023（日米韓機械学会合同流体工学会議）」、「International Soft Matter Conference (ISMC2023)（国際ソフトマター（高分子、コロイド、液晶、生体物質等柔らかい物質）会議）」、「大阪公立大学大学院工学研究科国際シンポジウム」、「第64回電池討論会」等が開催された。政府系では、「2023年G7大阪・堺貿易大臣会合」や「2025日本国際博覧会IPM2023秋」が開催された。</p>	S	政府系国際会議として「G7大阪・堺貿易大臣会合」や「2025日本国際博覧会IPM2023秋」が開催された。万博開催年の国際会議誘致も本格化してくるから、引き続き積極的な誘致に努められたい。	A
	<p>○ 国際会議等における新型コロナウイルス感染防止に向けた対応が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・細菌やウイルスを除菌し空気の質を向上させる目的でメインホール5階ホワイエ空調機内に高出力紫外線殺菌灯を設置したほか、プラザステージに近い1階入口に自動扉を設置した。</p>	A	昨年度に引き続き、安全な利用のための取組みがなされており、適切に対応している。	A

<p>(4) サービス向上を図るための取り組み内容、手法及び実現可能性</p>	<p>○ 利用者（主催者・来場者）サービスの向上、満足度を高めるための取り組みが適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 飲食、物販、ケータリングなどのサービス事業の取り組みが適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 施設をPRする取り組みが適切に実現されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 利用者（主催者・来場者）にとって魅力的な自主事業が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：S】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・快適で魅力あふれるOICC実現のため、利用者満足度向上に向けて引き続き利用者からのヒアリングやアンケート、来場者からのご意見やご要望等を踏まえた対応を行うとともに、利用者サービス向上等を検討する「s-OICC委員会」「e-OICC委員会」を開催するなど全社一丸となってお客様満足度の向上を図った。</p> <p>大規模修繕工事と併せて当会議場の魅力と機能を向上させるため、会議室1008と1009との固定壁を可動壁へ変更する工事に着手し、メインホール1階席のシートの座面張替や床カーペットの更新を発注した。バリアフリー化については、プラザステージに近い1階出入り口に自動扉を設置した（再掲）。また、ご通行の方やご利用者からのご意見を踏まえ、1階プラザ喫煙場所に囲い壁を設置した。</p> <p>さらに、ご利用者様、ご来館者様に当会議場だけではなく中之島の魅力を実感していただき、リピーターとしてご利用いただけるよう中之島の地元企業や4つの美術館等と地域の魅力向上について協議を進めた（再掲）。このほか、大阪観光局、ホテル、交通事業者等と連携して、オール大阪で大阪・中之島の魅力向上のための取り組みを進めた（再掲）。</p> <p>・お弁当のグレードアップなどにより、フードサポート料は計画比9%増、前年同期比8%増となった。SDGsやベジタリアン、ビーガンなど、食の多様性にも配慮した。</p> <p>また、大阪みやげの販売にも取り組んだ。</p> <p>・フードサービス向上に資する事業者を選定するため、10月に、カフェ（2階）、食堂（5階）、レストラン（12階）及びケータリング、デリバリーサービス及び自動販売機運営事業者を公募し、2024年4月からの事業者を選定した。このうち、5階食堂については応募者がなく不調となった。このスペースについては、当面、ラウンジ等として活用することを検討している。</p> <p>・ホームページ等によりお客様へのタイムリーな情報提供に努めるとともにSNSでの発信を強化し（概ね週1回以上）、多くのフォロワーを確保した（X(ツイッター)769件、インスタグラム274件）。</p> <p>・当社主催行事の「中之島リバーフェスタ」を5月に開催し、近隣の住民の皆様はもとより大阪府民・市民の皆様にも広く親しんでいただいた。京阪電鉄との共催による「京阪沿線ぶらりアート講演会」は6月に実施し、盛況であった。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>防災訓練やサービス向上委員会の実施により、利用者の安全性や満足度向上に向けた取り組みを進めている。大規模修繕工事等による設備の機能向上やサービス向上など利用者視点に立って取り組んでいる。これらの取組成果について積極的に利用者や各営業先へPRし、会議場の魅力向上に努めていかれたい。</p> <p>飲食、物販、ケータリング等のサービスに加え、お土産の案内等、利用者のニーズに応じた取り組みがなされており、引き続き強化に努められたい。入札不調となった5階食堂の今後の対応については、所管課と協議されたい。</p> <p>ホームページにおいて大規模修繕工事によるリニューアル点を紹介する等、情報提供に努められた。一方、SNSに関してはフォロワー数が昨年より微増にとどまっており、効果的な情報発信に努められたい。</p> <p>昨年に引き続き「中之島リバーフェスタ」を実施。引き続き、近隣と協力し、新たな自主事業等の検討・実施にも取り組んでいかれたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>大規模修繕工事を最大限に活用した営業戦略が大切であり、積極的に利用者や各営業先にPRされたい。</p> <p>飲食サービスに関しては、テイクアウトの充実やキッチンカーの誘致など新しい取り組みを進められたい。</p> <p>SNSの更新頻度が低い印象がある。更新頻度や投稿の内容については、他施設がどうであるかも踏まえて検討し、効果的な情報発信に取り組まれたい。</p>
<p>(5) 機能向上のための取組内容</p>	<p>○ 機能向上のための取り組みが適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】 R3年度【指定管理者：S 所管課：S】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】</p>	<p>別紙「機能強化費執行状況」とおり。</p> <p>・外部専門家を加えた「機能強化委員会」を10月に設置し、指定管理期間後半の機能強化を効果的、効率的に実施するための方策について審議した。</p>	<p>A</p>	<p>今年度から外部の専門家が参画する機能強化委員会を設置するなど会議場の機能強化につながる取り組みがされている。</p>	<p>A</p>	
<p>(6) 施設・設備・備品等の維持管理の内容、適格性及び実現可能性</p>	<p>○ 維持管理の役割分担に基づき、適切に実施されたか</p> <p>○ 施設、設備、備品等の安全管理・安全対策が適切に実施されたか</p> <p>○ 施設、設備、備品等の改修、修繕、更新が適切に実施されたか</p> <p>○ 効率的、計画的に適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>別紙「修繕費執行状況」とおり。</p>	<p>A</p>	<p>維持修繕については、指定管理の協定どおりの計画的な執行が進められている。</p>	<p>A</p>	<p>修繕費（修繕費執行状況一覧表）について、見送り・取りやめをわかるように記載された。</p>

<p>(7)府施策との整合</p>	<p>■以下の取組みが適切に実施されたか</p> <p>○ 府や公益事業への協力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2025大阪・関西万博を見据えた会議の誘致や自主事業の企画等 <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：S】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 行政の福祉化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職困難者の雇用・就労支援 ・障がい者実雇用率 ・知的障がい者の清掃現場就業状況 <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：C】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 府民・NPOとの協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体等との協働事業 ・中之島の地域活性化に向けた自主事業の企画 <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 環境問題への取組み</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・2025大阪・関西万博の参加国等による「2025日本国際博覧会IPM2023秋」が11月に当会議場で開催された。</p> <p>また、2025大阪・関西万博と連動して中之島地域の魅力をさらに高めるため、「中之島パビリオン・フェスティバル2025（仮称）」の実施を企画しており、関係企業、美術館等と協議を重ねた（再掲）。</p> <p>SDGsの推進については、一昨年策定した「SDGs推進基本指針」に基づき、全社によるアクションプランを策定して取り組んだ。バリアフリーに資するため、多機能トイレの自動化を進めた（再掲）ほか、環境関係では、脱炭素社会実現に大いに期待されているEV（電気自動車）の普及に協力するため、当館地下2階駐車場に充電器を1基設置した。「2023年G7大阪・堺貿易大臣会合」では、ペットボトルに代え、紙パックによる飲料水を会議参加者に供した。</p> <p>・就職困難者の雇用については、2021年5月から母子家庭等就業・自立支援センターの紹介を経て1名採用している。</p> <p>知的障がい者の雇用については、清掃業務の再委託先と契約を締結し、勤務時間、人数等に合った訓練場所、機会の提供に努めた。また、植栽の水やりや手入れの委託先についても同様の内容で契約している。</p> <p>・地域との共生の取組みとしては、5月に「中之島リバーフェスタ」を昨年度に引き続き開催。6月には「京阪沿線ぶらりアート講演会」を実施し、会場がほぼ満席となる盛況であった（再掲）。8月には「中之島なつまつり」を開催し、約7,000人の皆様に中之島の夏をお楽しみいただいた。</p> <p>この他、プラザを利用したラジオ体操や餅つき大会に協力した。また、「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」、「キテミテ中之島2023イベント」に参画した。</p> <p>・館内照明について、これまで2階OIC Caféの天井照明のLED化などを図ってきたが、LED化事業補助金も活用しながら引き続き進めた。</p> <p>また、SDGsについては、「SDGs推進基本指針」に基づき、全社を挙げて取り組んでおり、パートナー会社を含むオールOICCによるSDGs・環境委員会を開催した（再掲）。</p> <p>省エネ、省資源に取り組んだほか、脱炭素社会実現に大いに期待されているEV（電気自動車）の普及に協力するため、当館地下2階駐車場に充電器を1基設置した（再掲）。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>「2025日本国際博覧会IPM2023秋」の開催など、万博の機運醸成に貢献した。また万博と連動した「中之島パビリオン・フェスティバル2025（仮称）」の開催については引き続き関係先と連携して取り組んでいかれたい。</p> <p>昨年度に引き続き、就職困難者の雇用が行われている。引き続き、継続的な雇用の確保に努められたい。</p> <p>地域団体との協働事業や中之島の地域活性化に向けた自主事業に適切に取り組んでいる。</p> <p>照明のLED化やEV（電気自動車）充電器の設置など、カーボンニュートラルを意識した取り組みが進められている。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	
-------------------	---	---	-------------------------------------	--	-------------------------------------	--

II

評価項目	評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言																																										
<p>II さらなるサービスの向上に関する項目</p>	<p>(1) 利用者満足度調査等</p> <p>○ 利用者満足度に係るアンケート調査等が適切に実施されたか</p> <p>・ 催事主催者等会議場利用者の再利用の意向の割合 100.0%</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" data-bbox="359 449 923 642"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th>R5 2023</th> <th>R10 2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理提案時目標</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>年度目標</td> <td>98.0</td> <td>98.7</td> <td>98.9</td> <td>98.9</td> <td>98.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98.7</td> <td>98.3</td> <td>95.8</td> <td>96.2</td> <td>100.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="359 674 923 783"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th>R5 2023</th> <th>R10 2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回収率実績</td> <td>71.0</td> <td>77.2</td> <td>71.5</td> <td>26.6</td> <td>19.9</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>再利用・・・再利用の意向について、全体の内「たいへん思う」「思う」の回答の割合</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：A】 R3年度【指定管理者：B 所管課：A】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】</p>	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028	指定管理提案時目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9	98.9	-	実績	98.7	98.3	95.8	96.2	100.0	-	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028	回収率実績	71.0	77.2	71.5	26.6	19.9	-	<p>・ 2023年度第3四半期 満足度調査 再利用 100.0% 平均 93.3% (「平均」…「施設」「備品」「スタッフの対応」「再利用」にかかる満足度の平均)</p> <p>・ 特に当施設の利用頻度が高い催事主催者に対して、当社の催事担当者が催事終了時に直接ヒアリングを行う取り組みを開始し、利用者の満足度向上のみならず、今後の営業活動にも活用することとした。</p> <p>(参考) 2023年度(4月～11月)：配布548件、回答107件 2022年度：配布693件、回答185件</p>	<p>A</p> <p>目標は達成しているが、回収率が下がっている(26.6%⇒19.9%)ため、回収率を上げる取組みを検討していただきたい。また、主催者に直接ヒアリングした意見については、改善可能なものは速やかに対応し、今後の営業活動に活かしていただきたい。</p>	<p>A</p> <p>催事主催者に対して、催事終了時に直接ヒアリングをすることは良い取組みだと思われる。</p>
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028																																								
指定管理提案時目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0																																								
年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9	98.9	-																																								
実績	98.7	98.3	95.8	96.2	100.0	-																																								
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028																																								
回収率実績	71.0	77.2	71.5	26.6	19.9	-																																								
<p>(2) その他創意工夫</p>	<p>○ 創意工夫を持って、提案内容以外の取組みが実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】 R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・ 周辺地域の美化を進めるため、「美化強化デー」を引き続き実施したほか、以下の取組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5G通信を導入 ・ OICカフェ朝食スタート ・ LGBTQ啓発のためのプライド月間に参加 ・ 1階プラザステージ側に自動扉を設置 ・ 多機能トイレ扉の自動化 ・ 喫煙スペースの囲いの設置 <p>・ 駐車場については、その活用を図るため、リーガロイヤルホテル大阪と連携し、相互に駐車場を融通しあう協定を締結した。 また、年末年始には、プラザをホテル利用者の駐車場として提供した。</p>	<p>A</p> <p>5G通信の導入や喫煙スペースの囲いの設置など利用者の利便性を促進する取組みがなされている。</p>	<p>A</p> <p>5G通信の導入やWi-Fi環境の整備など、利用者の利便性を促進する取組みがなされている。継続して取り組まれない。</p>																																										

III

III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

評価項目	評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言																																																																																																																																								
<p>(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度</p>	<p>○ 収支計画に則して適切に運営されたか</p> <p>・ 指定管理提案時目標 (百万円)</p> <table border="1" data-bbox="371 357 1113 630"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th>R5 2023</th> <th>R10 2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>2,285</td> <td>2,409</td> <td>2,421</td> <td>2,432</td> <td>2,465</td> <td>2,465</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>2,254</td> <td>2,373</td> <td>2,385</td> <td>2,397</td> <td>2,414</td> <td>2,414</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>31</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>51</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>受取利息等</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>67</td> <td>68</td> <td>62</td> <td>59</td> <td>75</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 年度当初の目標 (百万円)</p> <table border="1" data-bbox="371 693 1113 1018"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th>R5 2023 4～11</th> <th>2023 通年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>2,285</td> <td>607</td> <td>1,571</td> <td>1,840</td> <td>1,455</td> <td>1,558</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>2,254</td> <td>1,916</td> <td>1,885</td> <td>2,087</td> <td>1,444</td> <td>2,237</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>31</td> <td>▲1,309</td> <td>▲314</td> <td>▲246</td> <td>11</td> <td>▲679</td> </tr> <tr> <td>受取利息等</td> <td>36</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>67</td> <td>▲1,287</td> <td>▲293</td> <td>▲223</td> <td>30</td> <td>▲652</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 実績 (百万円)</p> <table border="1" data-bbox="371 1092 1113 1386"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th>R5 2023 4～11</th> <th>2023 通年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>2,163</td> <td>952</td> <td>2,603</td> <td>1,928</td> <td>1,402</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>2,127</td> <td>1,835</td> <td>2,312</td> <td>2,162</td> <td>1,521</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>36</td> <td>▲883</td> <td>291</td> <td>▲233</td> <td>▲119</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>受取利息等</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>18</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>74</td> <td>▲852</td> <td>316</td> <td>▲198</td> <td>▲101</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5は、4～11月の実績値</p> <p>R5実績見込み(参考)</p> <table border="1" data-bbox="1142 1092 1320 1386"> <tbody> <tr> <td>2023 通年</td> <td>1,509</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,254</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲745</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲715</td> </tr> </tbody> </table> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】 R3年度【指定管理者：S 所管課：S】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】</p>	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028	売上	2,285	2,409	2,421	2,432	2,465	2,465	営業費用	2,254	2,373	2,385	2,397	2,414	2,414	営業利益	31	36	36	35	51	51	受取利息等	36	32	26	24	24	24	経常利益	67	68	62	59	75	75	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023 4～11	2023 通年	売上	2,285	607	1,571	1,840	1,455	1,558	営業費用	2,254	1,916	1,885	2,087	1,444	2,237	営業利益	31	▲1,309	▲314	▲246	11	▲679	受取利息等	36	22	20	22	19	27	経常利益	67	▲1,287	▲293	▲223	30	▲652	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023 4～11	2023 通年	売上	2,163	952	2,603	1,928	1,402	-	営業費用	2,127	1,835	2,312	2,162	1,521	-	営業利益	36	▲883	291	▲233	▲119	-	受取利息等	36	30	28	36	18	-	経常利益	74	▲852	316	▲198	▲101	-	2023 通年	1,509		2,254		▲745		31		▲715	<p>・ 2023年度通常営業期間（4月～11月） 収支実績 売上 1,402百万円 営業費用 1,521 〃 営業利益 ▲ 119 〃 受取利息等 18 〃 経常利益 ▲ 101 〃</p> <p>・ 展示会、企業内部の大会・説明会等、企業の需要が減少するなか、ロイヤルカスタマーや大口のお客様への営業活動に注力した。</p> <p>・ 新たなニーズに応えるため、マスコミ、広告代理店等に訪問営業を行った。</p> <p>・ ターゲットとするお客様をリストアップし、首都圏の学会事務局や展示会の主催者等に対し、大規模修繕による休館期間に精力的に催事の誘致を行った。</p>	<p>B</p> <p>休館期間中の営業強化を通して、営業先との関係性を強化し、受注に繋がるよう引き続き取組みを進め、売上増加に努められたい。</p>	<p>B</p> <p>休館期間中、首都圏の学会事務局や企業を訪問したとのこと。今回得た情報を基に、4月以降についても継続して取組みを進められたい。</p>
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028																																																																																																																																						
売上	2,285	2,409	2,421	2,432	2,465	2,465																																																																																																																																						
営業費用	2,254	2,373	2,385	2,397	2,414	2,414																																																																																																																																						
営業利益	31	36	36	35	51	51																																																																																																																																						
受取利息等	36	32	26	24	24	24																																																																																																																																						
経常利益	67	68	62	59	75	75																																																																																																																																						
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023 4～11	2023 通年																																																																																																																																						
売上	2,285	607	1,571	1,840	1,455	1,558																																																																																																																																						
営業費用	2,254	1,916	1,885	2,087	1,444	2,237																																																																																																																																						
営業利益	31	▲1,309	▲314	▲246	11	▲679																																																																																																																																						
受取利息等	36	22	20	22	19	27																																																																																																																																						
経常利益	67	▲1,287	▲293	▲223	30	▲652																																																																																																																																						
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023 4～11	2023 通年																																																																																																																																						
売上	2,163	952	2,603	1,928	1,402	-																																																																																																																																						
営業費用	2,127	1,835	2,312	2,162	1,521	-																																																																																																																																						
営業利益	36	▲883	291	▲233	▲119	-																																																																																																																																						
受取利息等	36	30	28	36	18	-																																																																																																																																						
経常利益	74	▲852	316	▲198	▲101	-																																																																																																																																						
2023 通年	1,509																																																																																																																																											
	2,254																																																																																																																																											
	▲745																																																																																																																																											
	31																																																																																																																																											
	▲715																																																																																																																																											
<p>2) 安定的な運営が可能となる人的能力</p>	<p>○ 総務、施設管理、営業等の各部門に必要な人員が適切に配置されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】 R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】</p> <p>○ 職員の採用、確保が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】 R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】</p>	<p>・ 今年度当初、元契約社員の職務を拡大し、幅広く能力が発揮できるよう正社員として登用した。</p> <p>・ 公募のほか人材紹介制度を活用し、年度途中に営業担当社員を採用した。</p> <p>・ 研修については、新任課長研修、主任昇格者研修、入社2年目研修などの職種別研修を実施したほか、人</p>	<p>A</p> <p>国際会議誘致に係る体制を強化するため、適切な人員配置を行っている。</p> <p>A</p> <p>人材サービス会社を通じて採用を行うなど、法人が求める人材が確保できている。</p>	<p>A</p> <p>A</p>																																																																																																																																								

○ 職員の指導育成、研修が適切に実施されたか

過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】
R3年度【指定管理者：B 所管課：B】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】

○ 職員の勤務形態、勤務条件が適正に確保されたか

過年度評価：R2年度【指定管理者：A 所管課：A】
R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】

【参考値】部門別従業員配置（R5年12月）

	部門	配置数 (人)
プロパー	総務管理・経営企画	9
	国際会議等誘致	6
	予約・催事運営	10
	合計	25
全社	総務管理・経営企画	14
	国際会議等誘致	6
	予約・催事運営	12
	合計	32

(営業部長、次長は総務管理・経営企画に含む。)

ハラスメント研修や人権啓発などの研修に社員を参加させた。また、e-ラーニングを社員全員に受講させている。
・MICEの誘致・運営支援にかかる人材の養成に関して、2名の社員を大阪観光局主催の海外施設の視察に参加させ、また、大阪観光局に順次、若手社員を派遣し、実務研修を受講させている。
・10月には、「G7 大阪・堺貿易大臣会合」を睨み、府警本部によるサーバー攻撃メール対策セミナーをパートナー会社とともに全社員で受講した。
・消防訓練について、9月に定例の訓練をテナント会社の従業員とともに実施したほか、10月には大阪市消防局と合同で、「2023年G7大阪・堺貿易大臣会合」を想定した急病人の搬送、避難誘導、消防訓練を行った。
・目標管理については、管理シートの簡素化を図るとともに、チームワークや業務改善、コミュニケーションなどの要素も取り入れ、総合的に評価できるようにした。

・勤務条件については、慶弔見舞金規程、賃金規則、就業規則、旅費規程等の見直しを行ったほか、ハラスメント相談窓口・公益通報受付相談窓口の社外窓口を設置した。

・健康診断については医療機関を見直し、3か所で受診できるようにした。

A 職階別研修や専門研修など社員の能力育成に向けた研修が実施されており、引き続き取り組みを進めていかたい。

A 人材育成については、様々な研修が実施されている。引き続き効果的に取り組まれない。

A 勤務条件の見直しを適切に行っているほか、今年度より第三者による社外窓口として、ハラスメントや公益通報制度の相談窓口の体制強化を設けるなど職場環境の改善に努められている。

A

3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤

○ 施設運営管理者として、適切な財務状況が確保されているか

過年度評価：R2年度【指定管理者：B 所管課：B】
R3年度【指定管理者：S 所管課：A】
R4年度【指定管理者：B 所管課：B】

別紙「収支実績」等のとおり。

B 水道光熱費や人件費の高騰による警備等の委託経費の上昇により、営業費用が膨らんでいる事はやむを得ないが、適切な温度管理や価格交渉など様々な取組みにより経費節減に努められた。引き続き、取り組みを進めていかたい。